

# 大阪府立茨木工科高校「段ボール富士」の歩み

## 1年目（2021年11月）



コロナウイルス流行の中、生徒用パソコンが梱包されていた不用の段ボールを使用し、1年5組の文化祭用展示作品として出発しました。すべて厚みが8mmでそろっていたため、2,500分の1の縮尺で作りました。1段(=8mm)が実際の20mに相当します。

10月からの約1カ月間で31人が協力し中心の96ピースが完成し、前日に数人がかりで急いで組み上げました。

## 2年目（2022年11月）



2年目からは環境倶楽部の文化祭企画として、標高2,000m以上の残りの119ピースを4人で作成しました。

なぜ2,000m以上の部分にしたかということ、展示会場の物理実験室の実験台が80cm(=2,000mの2,500分の1)の高さだったからです。

2日前にすべてのピースが完成し、文化祭当日朝にようやく仕上がりました。展示は約4時間、来客も少数でした。

## 3年目（2023年11月）



3年目、環境倶楽部の企画として最後の展示をしました。各ピースを10~20個ごとにボンドで接着し、紙テープで山頂付近の雪を表現しました。

文化祭前日、朝日新聞社の取材を受け、当日の朝刊【大阪版】に掲載され、近所の方を含む多くの方に見てもらいました。そしてなんと、最終的に部員が修学旅行で訪れた五合園レストハウスに引き取って頂く事になったのです！